

## 第4回 福岡空港回転翼機能移設事業 環境影響評価技術検討委員会

(議事要旨)

日 時：平成29年6月29日(木) 10:00～11:40

場 所：国土交通省大阪航空局福岡空港事務所 2階 A会議室

出席委員：

薛 孝夫 (元九州大学 農学研究院 准教授)

田村 耕作 (日本野鳥の会 福岡支部 副支部長)

野上 敦嗣 (北九州市立大学 国際環境工学部 教授)

松藤 康司 (福岡大学 工学部 教授)

吉久 光一 (名城大学 学長)

<敬称略：五十音順>

**議事要旨：**

### 1. 環境影響評価に係る手続きの経過報告について

- ・資料1「環境影響評価に係る手続きの経過報告」について、事務局より説明を行った。

### 2. 環境影響評価準備書(案)について

- ・資料2「福岡空港回転翼機能移設事業に係る環境影響評価準備書(案)」について、事務局より説明を行った。
- ・以下の質疑及び助言が行われ、準備書(案)の内容について、了解が得られた。

### 【個別的事項】

#### ■資料2

P.16

委 員：工事計画の概要のイラストがわかりやすい。これにならい、移設するヘリコプターの写真や騒音レベル等の諸元が示してあると、一般の方にもわかりやすい。

事務局：ご指摘を踏まえ追記する。

委 員：アスファルト舗装工事では臭いがでるため、隣接している海水淡水化センターへ臭いがいかないように対策をしたほうがよい。

事務局：対応が可能かも含めて今後検討する。

P.26

委 員：P.27の浮遊粒子状物質(SPM)における特異な気象条件での予測結果と同様に、二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)においても特異な気象条件での予測結果を記載したほうがよい。

事務局：ご指摘を踏まえ追記する。

P. 29

委員：グラフ下の A 特性実効音響パワーレベルの説明文は、間違いなので修正すること。

また、準備書の全体版においても誤記を確認し完成度を高めること。

事務局：ご指摘を踏まえ修正する。

P. 32

委員：住民説明会においても本資料を使用することなので、航空機騒音の予測結果におけるコンター図の数字を見やすく（大きく）表現すること。

事務局：ご指摘を踏まえ修正する。

P. 33

委員：表の下の「 $LA_{Smax}$ 」の説明については、文字だけでなくイメージ図などを用いてわかりやすくした方がよい。

事務局：ご指摘を踏まえ追加する。

P. 35

委員：低周波音圧レベルの調査結果は、説明においては G 特性音圧レベルで示した方がよい。

事務局：ご指摘を踏まえ修正する。

P. 44

委員：カヤネズミについて、草地の環境を保全することはどこに示しているのか。

事務局：P. 50 の環境保全目標達成のため予測の前提として見込んだ環境保全措置に記載している。

委員：住民説明時には強調して説明すること。

事務局：そのように対応する。

P. 47

委員：植生図については、P. 44 の環境類型区分図のように調査区域外を色付けした方がよい。

事務局：ご指摘を踏まえ修正する。

P. 55

委員：温室効果ガスについては地球全体の問題であり、本事業は福岡空港に常駐するヘリコプターの機能を移設するだけであるため、排出総量に変化は無い。一般の方への説明にあたっては、局所的な問題と誤解されないように留意すること。また、 $CO_2$ は汚染物質ではないので、知見を正確に伝えることを心がけてもらいたい。

事務局：そのように対応する。

P. 57

委員：「予測の不確実性の程度は小さい」との記載について、航空機騒音については「予測の不確実性の程度は小さい」との記載でよいが、超低周波音については「予測・評価の不確実性が高い」ことから、騒音と超低周波音を分けて記載した方がよい。

事務局：ご指摘を踏まえ修正する。

P. 58

委員：事後調査の報告方法はどのように考えているか。

事務局：事後調査は福岡市環境影響評価条例に従って実施することになるため、福岡市と調整のうえ公表方法を決めたいと考えている。

準備書全体版 P8. 2-12、8. 2-96, 97

委員：予測式の記載の方法が異なっているため統一すること。

事務局：ご指摘を踏まえ修正する。

その他

委員：エコエアポートをすることであるが、植栽をする計画はあるのか。

事務局：植栽をする計画はない。

### 3. その他

- ・今後のスケジュールについて、事務局より説明を行った。

以上